

せいび

# がんばっています 済美高校

## 健康福祉コース★活動報告★

### 介護の働きやすさ、楽しさを伝えています

健康福祉コースの3年生、木村桃花さん(島中)、細野蒼羽さん(青山中)、駒瀬由依さん(厚見中)が、介護事業の広報番組の学生パーソナリティーとして活躍しています。

番組は、介護の第一線で活躍されている方にインタビューを行い、仕事の魅力についてお話を伺うものです。11月から1月にかけて、県内の事業所を訪問し、その内容をラジオ番組・新聞・WEBで広報しています。番組に参加した細野さんにお話を伺いました。

「ラジオ番組の取材は初めてで、とても緊張しましたが、現場の方々がとても優しく、いい雰囲気を作って下さったので、話を聞きやすかったです。介護士の方々の話は、授業で習うことのない話がたくさんあったので、とても良い経験になりました。自分の将来の仕事に活かしていこうと思っています。」

「ぎふかいご Challenge & Care!!」は、FMぎふ放送で、毎週日曜日10:55～11:00に放送されています。



### 聞いてみよう!介護の仕事

**Q** 将来、介護職を目指す済美高等学校普通科健康福祉コース3年の駒瀬由依さん(右)と細野蒼羽さん(左)が、介護現場で働く松岡さんにインタビューしました。

**A** 普段の業務で意識していることは、利用者さんとの挨拶や会話の中から、普段と違う様子や体調の変化がないか、確認するようにしています。

**Q** 介護福祉士の資格試験はどんなもの?  
**A** 筆記の筆記試験、マークシート、実技がある人をベッドから移乗する一など、具体的な事例の実技試験がありました。

**Q** 介護士も医療的ケアができるのでしょうか?  
**A** 介護士も医療的ケア(50時間研修を受けること、略称取得)と経営栄養ができる認定が取得できます。私も今後、緊急時に対応できるよう挑戦していきたいです。

**利用者、働く側がともに笑顔になれる職場**

今年、大垣校高校福祉科を卒業し、特別養護老人ホームラッフで介護福祉士として働き始めた松岡実歩さん。学生時代に多様な施設でボランティアを経験した中で、職員と利用者の楽しそうな姿に惹かれ、この施設に入職しました。ラッフでは、職員の仕事や体の負担を軽減するため、通常より多い職員を配置。入職後3カ月間は、複数の先輩職員が松岡さんの指導にあたり、体に無理がない介助方法を教えてくれたといいます。「利用者さんからも介助がうまくなったと声をかけてもらい、人と関わる仕事の魅力を改めて実感しています。覚えることも多いですが、こたないな指導に加え、食事介護や移乗、記録の取り方など、細やかに研修が用意され、安心しました」と話す松岡さん。早くの仕事に慣れてスキルアップしたいとさらなる意欲を語りました。

社会福祉法人 善心会

2019年11月 中日新聞 掲載記事より

～ 新しい時代を済美と共に ～